


製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。  
この施工説明書と水栓金具に同梱されている説明書と合わせてご確認ください。



## 安全上の注意

取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。  
この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。  
使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。


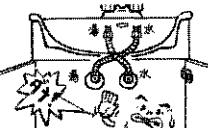
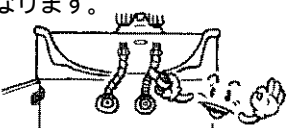


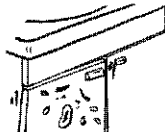
お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
---	----------------------------

本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。  
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

表 示	意 味
 <b>警告</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

 <b>警告</b>		 <b>注意</b>	
壁固定ねじ取付位置に棧を入れて補強してください	浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください	給排水工事は、関連する法令にしたがって、必ず「業者」が行ってください	
キャビネットが転倒しケガをする原因になります。 	漏電により感電する原因になります。 	漏水の原因になります。 	

 <b>注意</b>				
湯・水を逆に配管しないでください	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください	工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください	カウンター・洗面器の上ののらないでください	工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認してください
水側でいきなり湯が出て、やけどをする原因になります。 	凍結破損で漏水し家財などに損害を与える原因になります。 	漏水を起こすと、家財などに損害を与える原因になります。 	故障及び転落・転倒してケガの原因になります。 	使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。 

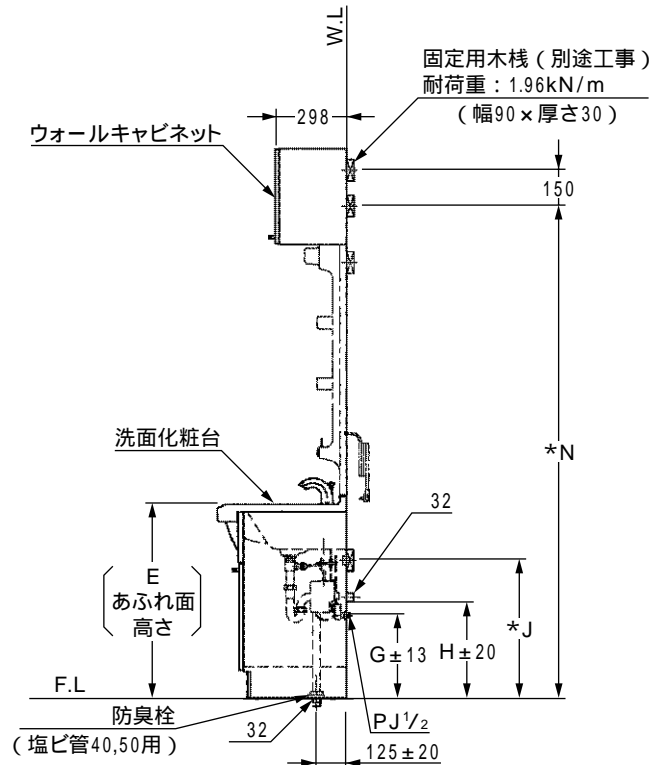
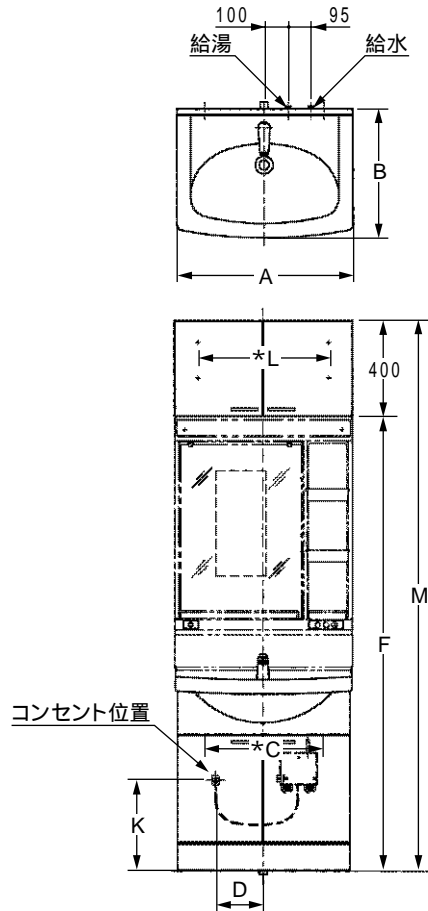


# LDA502・LDA600・LDA750・LDA751 LWK600・750

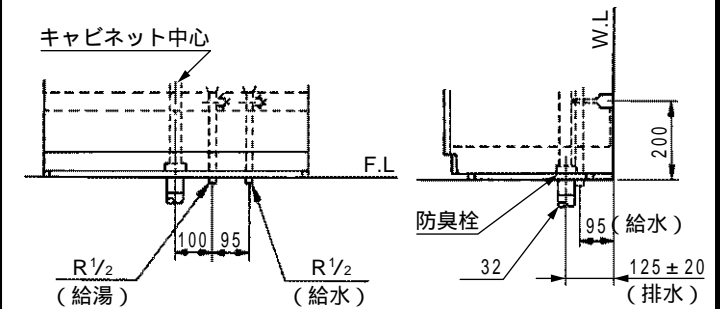
## 自動水栓の場合

洗面化粧台 製品品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
LDA600AYR	600	520	400	150	750	1850	300	320	530	330
LDA600BYR					800	1900	350	370	580	380
LDA750AYR	750	545	500	200	750	1850	300	320	530	330
LDA750BYR					800	1900	350	370	580	380

ウォールキャビネット 製品品番		L	M	N
LWK600	あふれ面高さ750の場合	450	2250	2010
	あふれ面高さ800の場合		2300	2060
LWK750	あふれ面高さ750の場合	500	2250	2010
	あふれ面高さ800の場合		2300	2060

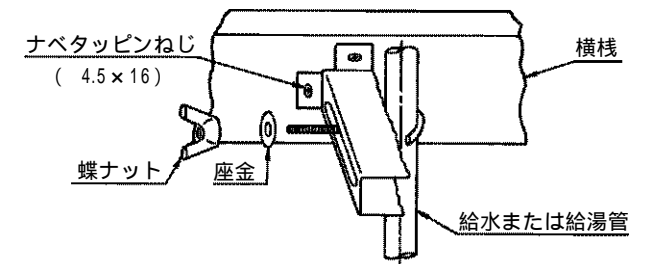


## 床給水の場合



### 給水・給湯管の固定

給水・給湯管を横棧にパイプバンドで確実に固定してください。



## 付属部品明細

### 洗面化粧台 LDA

名 称	数 量
1 水栓一式 ( 保証書同梱、ただし 立水栓・2ハンドル混合栓は除く )	1セット
2 止水栓 ( 自動水栓は水栓に同梱 )	立水栓の場合 1個
	その他 2個
3 排水トラップ	1セット
4 給水ふた	立水栓の場合 1個
	その他 2個
5 排水ふた	1個
6 防臭栓	1個
7 ふた用木ねじ ( 3×12 )	立水栓の場合 5本
	その他 7本
8 壁固定用木ねじ ( 4.5×50 )	2本
9 取扱説明書 ( 保証書付 )	1冊

### ウォールキャビネット LWK

名 称	数 量
1 壁固定用木ねじ ( 4.5×50 )	4本
2 棚受けダボ	4個

## 設置上の注意

湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。**特に浴室内には、設置しないでください。**

直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。

取付けは必ず平滑な壁面としてください。

## 取付前の準備

キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木棧を入れてください。

特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には、壁面に固定用木棧を入れてください。

( 壁面に固定用木棧が取付けられない場合は、前面に厚み12mm以上の板を強固に取付けてください。 )

給水・給湯管を所定の位置に取出してください。

器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

化粧台に給水・給湯穴 ( 52×2 )、排水穴 ( 90 ) を穴あけしてください。

排水管を所定の位置に取出してください。

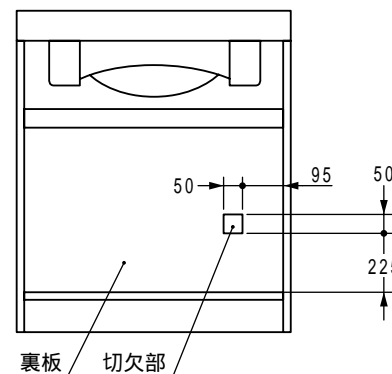
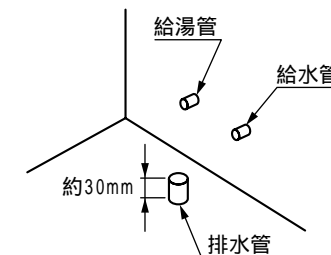
仕上げ面より30mm立上げてください。

( 排水管はVU40、VU50又はVP40、VP50をご使用ください。 )

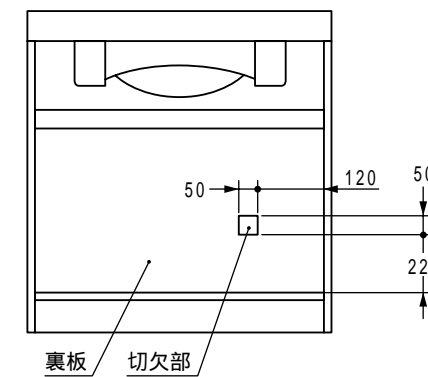
自動水栓の場合は、壁側にコンセントがつきますのでキャビネット裏板を切欠いてください。切欠位置は下図を参照ください。

( 注 ) コンセント位置が工事寸法通りに設置されていない場合は、現物に合わせて裏板を切欠いてください。

下図はキャビネット裏面を示します。



LDA600の場合



LDA750の場合

## 使用条件 ( シングルレバー混合栓、自動水栓のみ )

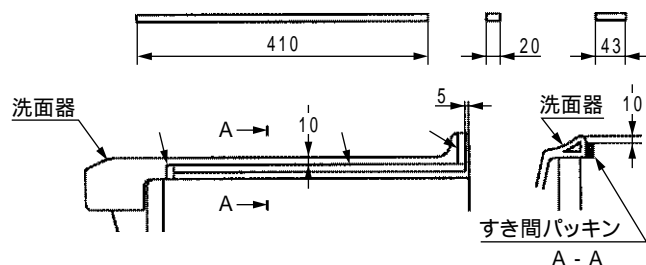
水栓金具の使用条件は水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。

# 取付手順 (番号順に取付けてください。)

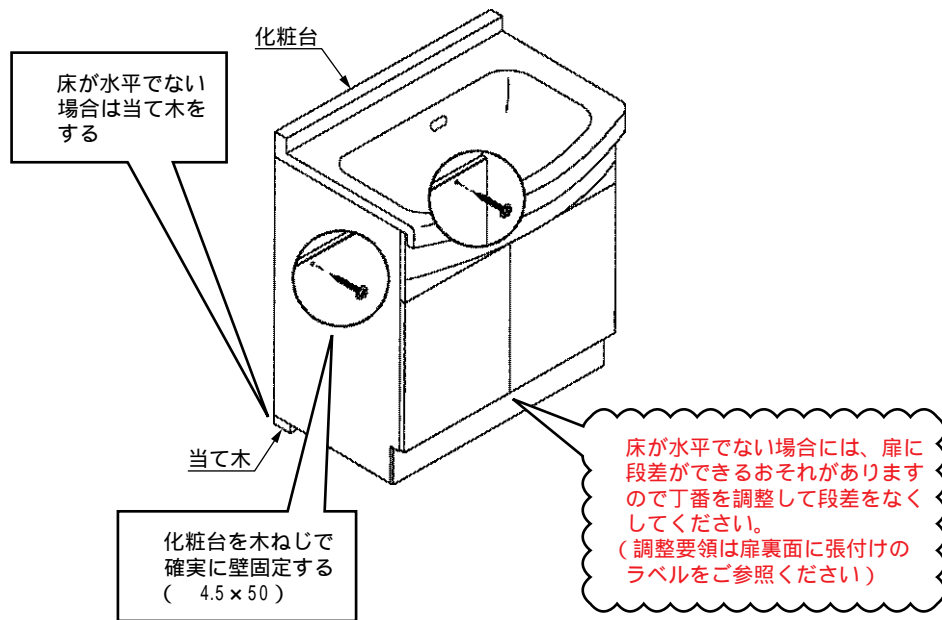
タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ木ねじ用プラグを打込んでおいてください。  
 (プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

## すき間パッキンの取付け

すき間埋めスペーサ(L08)及びツールキャビネットをセットする場合、すき間埋めスペーサ及びツールキャビネットに同梱されているパッキンを下記寸法にカットし洗面器に張付けてください。



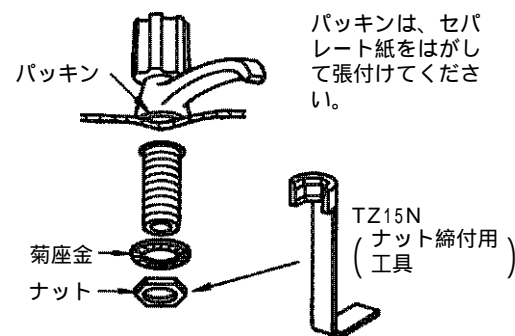
## 洗面化粧台の取付け



## 水栓金具の取付け

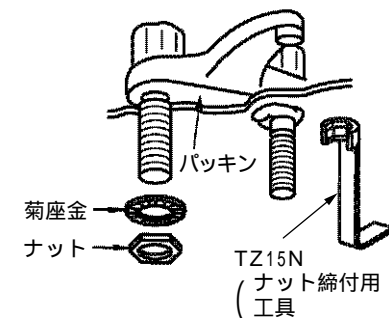
別売のナット締付用工具(TZ15N)を使用して確実に締付けてください。水栓本体と陶器のすき間が見えなくなるようにナットを確実に締付けてください。

### 立水栓の取付け



### 2ハンドル混合栓の取付け

片締めしますと、洗面器が割れるおそれがありますので左右交互に均等に締めてください。



### シングルレバー混合栓・アクアオート(自動水栓)の取付け

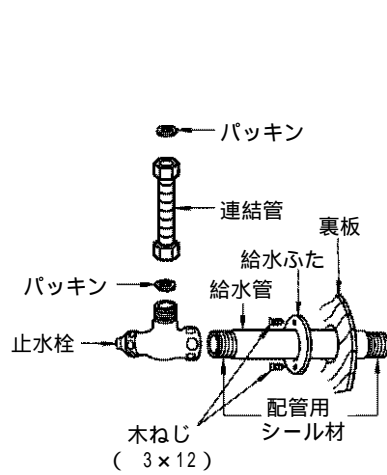
水栓金具に同梱されている施工説明書をご参照ください。

# 止水栓・連結管の取付け

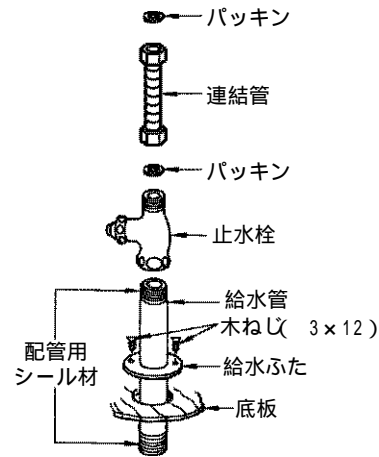
## 立水栓・2ハンドル混合栓の場合

ナットは工具で確実に締付けてください。

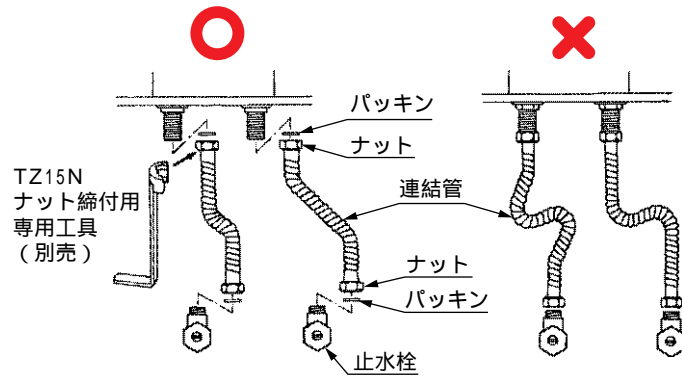
### 壁給水の場合



### 床給水の場合



寒冷地の場合、連結管は逆勾配にならないように取付けてください。

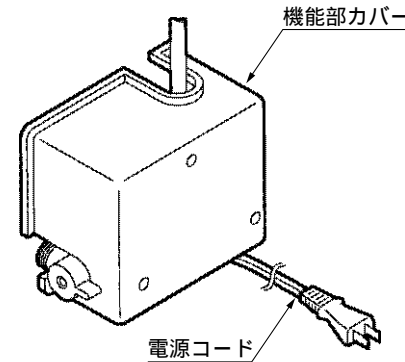


シングルレバー混合栓は、水栓金具に同梱されている施工説明書をご参照ください。

## 自動水栓の場合

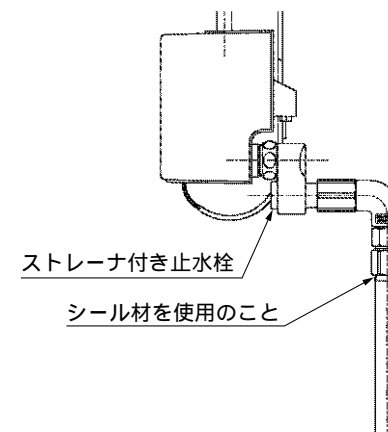
取付けの詳細については、アクアオート専用の施工説明書をご参照ください。

### 壁給水の場合



洗面化粧台に付属の給水ふたを使用してください。

### 床給水の場合





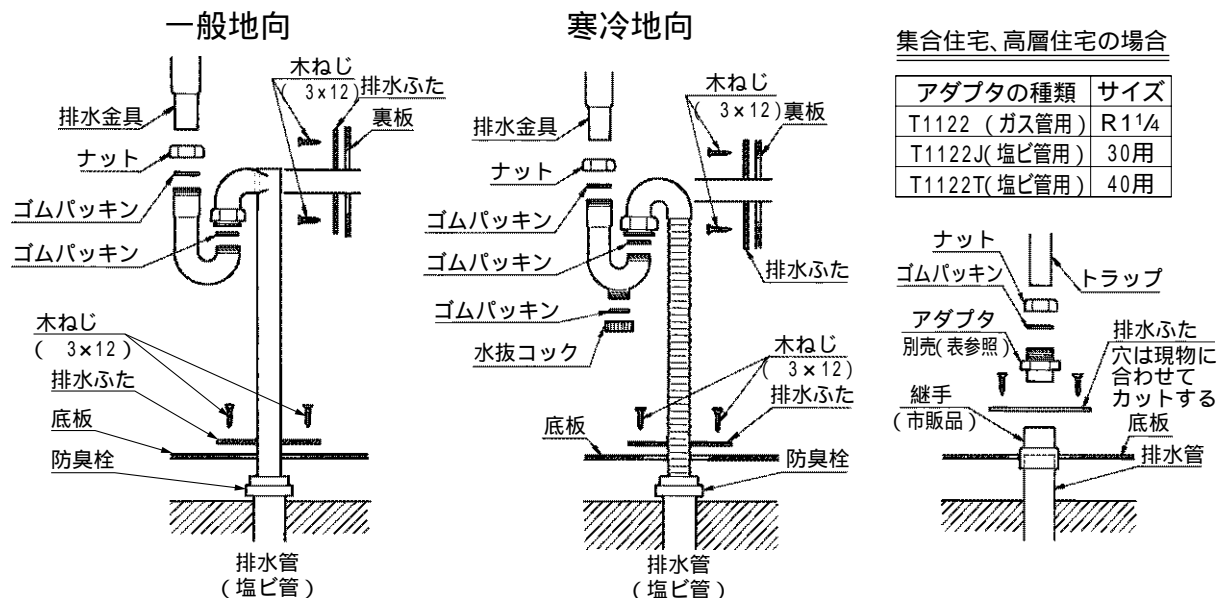
## 排水トラップの取付け

ナットは手で確実に締付けてください。

床排水トラップの場合は、配水管に防臭栓をはめてトラップを差込んでください。

壁排水トラップの場合は、LTH521-3に同梱の塞ふたで底板の穴をふさいでください。

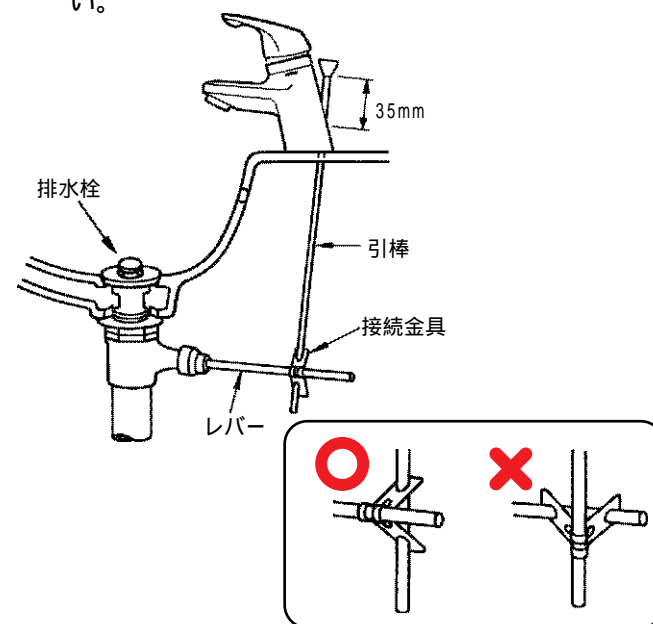
集合住宅、高層住宅の場合、床排水トラップを別売のアダプタ（下表）で確実に接合してください。その際、排水トラップがジャバラ管の場合、別売のハード管（LW87057W）をご使用ください。



## ポップアップ引棒の取付け

(シングルレバー水栓及び自動水栓の場合)

レバーを下側いっぱい下げ、引棒を図のように接続してください。また、引棒を上下に作動させた時、排水栓がスムーズに動くか確認してください。



## ウォールキャビネットの取付け

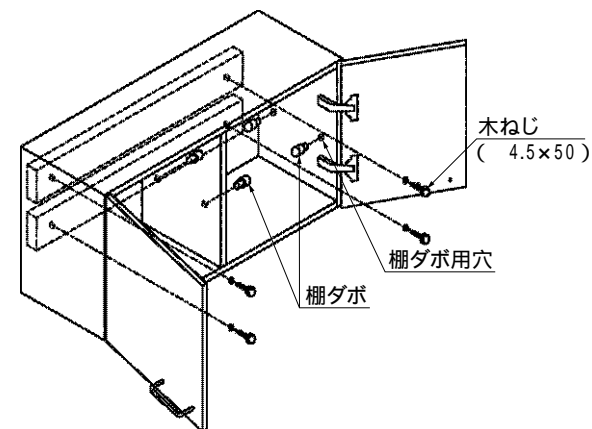
(別売品のウォールキャビネットを取付ける場合は、この方法にしたがってください。)

ウォールキャビネットを化粧台の上のせて、水平方向・垂直方向の位置合わせをしてください。

付属の木ねじ（4本）で確実に固定してください。

**壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。**

棚受ダボを棚受ダボ用穴に差込み、棚板をのせてください。



## 取付完了後の確認と清掃

キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。

通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。

その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからふきしてください。

シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

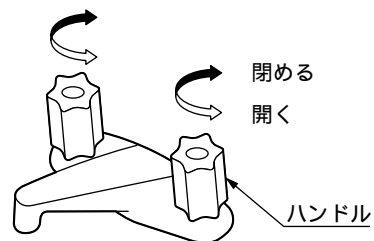
## 寒冷地タイプの水抜き方法

寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

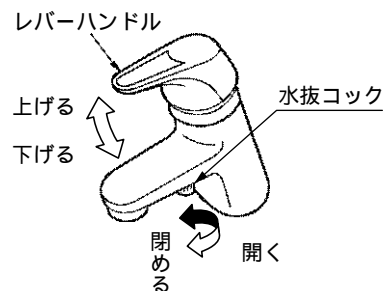
凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。  
また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

立水栓・2ハンドル混合栓の水抜き手順  
水栓金具のハンドルを開いてください。  
水抜き後は必ずハンドルを確実に閉めてください。

水栓本体の水抜きはありません。



シングルレバー混合栓の水抜き手順  
レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げてください。  
水抜きコックを開いてください。  
水抜き後は必ずレバーハンドルを下げ、水抜きコックを確実に閉めてください。



排水トラップの水抜き手順  
水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開いてください。  
水抜き後は必ず水抜きコックを確実に閉めてください。

